

2024年度

実施効果報告レポート

【事業者名】

HelloWorld株式会社
株式会社コエルワ

【サービス名】

- ①世界の教室をつなぐ WorldClassroom
- ②Hokkaido EPS for High School

【支援項目】

- ①授業、授業準備、成績処理
- ②授業、授業準備、研修等



世界の教室をつなぐ
オンライン国際交流プラットフォーム

授業が
変わる
世界が
広がる

教室に「社会」と「リアル」を。

「生きる」につながるアントレプレナーシップ教材



2025年1月

世界の教室をつなぐ
WORLD CLASSROOM

スピーキングの正確性を自動判定！
ALL Englishで探究活動！

海外の生徒に発表する原稿を作成
海外の生徒との協働学習を実現！

※弊社が運営をサポート
海外の同世代と国際交流

音読・プレゼン練習・スコアリング機能で
教員の業務負担を軽減 ※全ての教科書と連動可能

国際交流とシステムの活用により英語での探究が可能に！！
英語での探究により、海外志向性が向上



EPS
for High school

授業スライド+ワークシートのセットで、授業教材の準備が不要！

授業実施マニュアル

1 丁寧な導入向けコミュニケーションによる、
「カリキュラム調整」「授業打合わせ」の省人化

2 高品質なアントレ教育の教材提供/授業支援による、
「授業準備」「授業時間」の省人化

3 学校横断型の授業研究支援による、
「校内研修、校内や校務としての勉強会」の省人化

カードゲームなど高品質な教材

- ①音声認識技術を用いたスピーキング練習機能
- ②採点/評価自動化機能（業務効率化を推進）
- ③オンライン国際交流（ノンリアル/リアル）

- 1. 正規の授業との連携を実現する導入コミュニケーション
- 2. 事前準備不要の高品質なアントレプレナーシップ授業教材
- 3. 教員同士のオンライン交流/研修



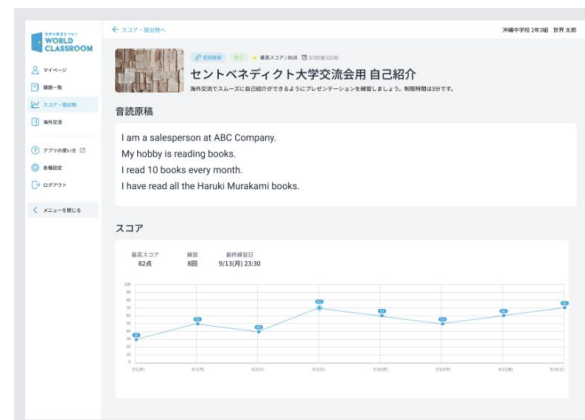
スピーキング練習から、海外の学生との実践的交流まで可能。
採点・評価の自動化により、先生方の業務負担改善にも貢献。

①音声認識技術を用いた スピーキング練習機能



- お手本になるネイティブの発音を聴きながらプレゼン・音読練習が可能！
- スピーキングの正確性をシステムが自動で点数化、ゲーム感覚で生徒のやる気が高まる仕組み！

②採点/評価自動化機能



- 生徒のスピーキングの採点、練習データを自動化/可視化することで、業務負担の大きいスピーキングの評価付けを改善！（働き方改革に貢献！）

③オンライン国際交流 (ノンリアル/リアル)



- 実際に海外の教室とオンラインで繋ぎ、練習した英語を実践！
- 実際のコミュニケーションを通じて、生きた英語を学ぶとともに英語学習意欲を向上！異文化理解の促進も！

学校活動支援サービスの概要



アントレプレナーシップ教育における幅広いテーマの教材をマニュアルとセットで学校に提供し、教員の負荷なく質の高い探究活動の実施を可能とします。

#1
「アントレプレナーシップ」を考える

#2
「能力開発科目」を考える

#3
お金の考え

#4
ルールメイキングを考える

#5
「対価と利益」を考える

#6
「失敗の捉え方」を考える

#7
「マーケティング」を考える

#8
経営を考える

#6：失敗の捉え方を考える教材カード

授業実施マニュアル

#8：「経営」を考えるカードゲーム&ワークシート

特徴① 幅広く・充実したテーマ設定の教材

- 下記の8テーマを用意しており、**アントレプレナーシップ教育における幅広く充実したテーマの教材を、既存のカリキュラムと連携した形で提供することが可能です。**
①アントレプレナーシップを考える / ②魅力的な会社とは / ③お金について考える / ④ルールメイキングを考える1 / ⑤ルールメイキングを考える2 / ⑥失敗の捉え方を考える / ⑦マーケティングを考える / ⑧「経営」を考える

特徴② 即時活用可能な授業スライドと、丁寧な授業実施マニュアル

- 教材は、**即時活用可能な授業スライドと丁寧な授業実施マニュアルが充実**しています。マニュアルには授業の時間構成や必要な事前準備まで細かく記載しており、高校教員が外部リソースを活用しなくてもアントレ教育の授業を実施することが可能になります。
- 開発プロセスでも教員からのフィードバックを反映し、すでに試験的な導入を行った高校教員からは「ゲームルールが容易であり、全ての生徒が理解し、楽しみながら学習できた」というコメントもいただいています。

特徴③ 教材を起点に生徒の個別/グループでの端末を活用した探究活動も可能

- ワークシートやカードゲームを利用するだけでなく、**生徒が自身の端末（PC・タブレット）を使って、自分のペースで興味のある内容について探究的に調査・分析を行うステップも授業内で提供されています。**

※「Hokkaido EPS for High School」は、「EDGE-PRIME Initiative」の一環で当社と 国立大学法人 北海道国立大学機構 小樽商科大学が共同開発した教材です。

導入数

13設置者（自治体及び私学）、32校
（中学校26校、高校6校）

生徒10,984人にプログラム提供

満足度

アンケートに回答いただいた教員（21名）の
89.2%が教科指導や業務効率化に役立つツールと回答

来年度以降の 事業継続 調整状況

13設置者中、10自治体（76.9%）
32校中、22校（68.8%）

継続利用に向けて財政担当部署・学校と調整中
※その他多くの設置者もR8年度に向けて調整中



入試長文問題対策も視野に入れた音読練習を実施。 日本語訳も一緒に原稿として記入することで、生徒は意味を考えながら練習することが可能。

音読原稿

Robots Make Dreams Come True

When you hear the word “robot,” what kind of robot do you imagine? Some people think of anime characters, some people think of the human-like robots that talk to people, and some people think of robots that work in factories. In the modern world, people are supported by robots that have a variety of shapes, sizes, and roles. Scientists are continuing to invent more and more useful robots. Now, let’s look at some examples. How do robots make people’s dreams come true?

ロボットが夢を実現する

「ロボット」という言葉を耳にするとき、あなたはどんな種類のロボットを想像しますか。アニメのキャラクターを思い浮かべる人がいたり、人に話しかける人間のようなロボットを思いつく人がいたり、工場で働くロボットを考えたりする人もいるでしょう。現代の世界において、人々は、さまざまな形、大きさ、そして役割をもつロボットによって支えられています。科学者たちはより一層役に立つロボットを発明し続けています。さて、いくつか例を見てみましょう。ロボットがどのようにして人々の夢を実現させているのでしょうか。

課題の説明文

音読練習

10/10（木）日々課題 音読練習

英語の原稿のみ音読練習をしてください。80点以上とるまで練習すること。音読は、意味が分からない文を読んでも意味がありません。1文、1文、日本語の意味を理解して読みましょう。特に、入試問題の長文問題を解けるようになりたい人は、音読をがんばりましょう。

アクティビティログ

生徒の練習回数や点数を可視化



導入実績および事例の紹介



台湾と交流、プレゼンスタイルで音更町を紹介。
台湾からも地元の紹介を行った。その後、相互にQ&A形式で交流しました。



教員の感想

- 本日の交流では、お互いに伝わらない、恥ずかしい様子ながらも、共通の好きなアーティストの名前が出た途端盛り上がったり、自分の話したことがウケて嬉しかったという生徒の声を聞きました。
- 担任の先生も帰りの会では、生徒たちが興奮気味で、楽しい様子だったのが伝わってきたと話していたので、本当に生徒にとっては有意義な時間になったと思います。
- これを2～3回と続けていけると、自信を持って会話ができるようになるのかなと感じました。通じた→うれしい！という気持ちが意欲につながると感じます。





探究の授業において教材・指導案を活用したアントレプレナーシップ講座を実施。
身近な話題から「自ら枠を超えて新たな価値を生むこと」を理解する機会に。

復習！

文部科学省の定義によると...

アントレプレナーシップとは

“様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神”

©2024 Hokkaido EPS for High School67

課題発見ワーク

©2024 Hokkaido EPS for High School86

アントレプレナーシップ 実用マニュアル

「アントレプレナーシップを考える」学習指導案

指導者:

1. 教材名: 1. アントレプレナーシップを考える

2. 概要及び目的

3. 本プログラムについて

4. 各テーマについて

5. 本時の目標

6. 本時の展開

7. 評価

アントレプレナーシップ（起業家精神）は世の中のたくさんの人に必要！

会社員

政治家

研究者

ボランティア

©2024 Hokkaido EPS for High School76

部活で「アントレプレナーシップ」を発揮してみよう！

【課題】

あなたは上級生で、部活を仕切っていく立場ですが下級生がなかなかついてきてくれません。あなたならどうしますか？

©2024 Hokkaido EPS for High School118

- 全8コマの実践的アントレプレナーシップ講座
- 指導案、スライド、ワークシートなどの授業キットにより教員による授業が可能に。

導入実績および事例の紹介



起業家実践講話として経営者を招聘した講座を実施。
八重山高校・沖縄水産高校にはコンソ企業のHelloWorld代表が訪問し授業を行った。

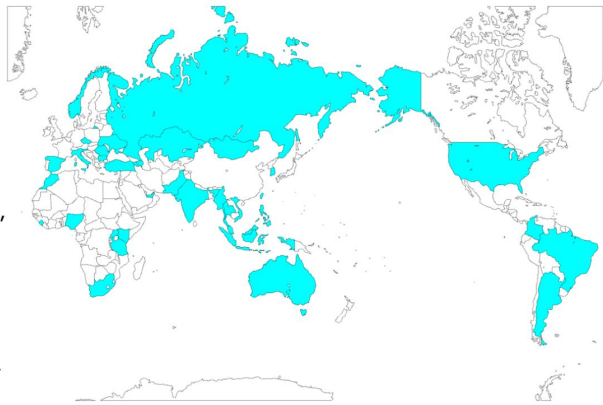


世界中に1カ国ずつ
友達がいることが
当たり前の社会をつくる



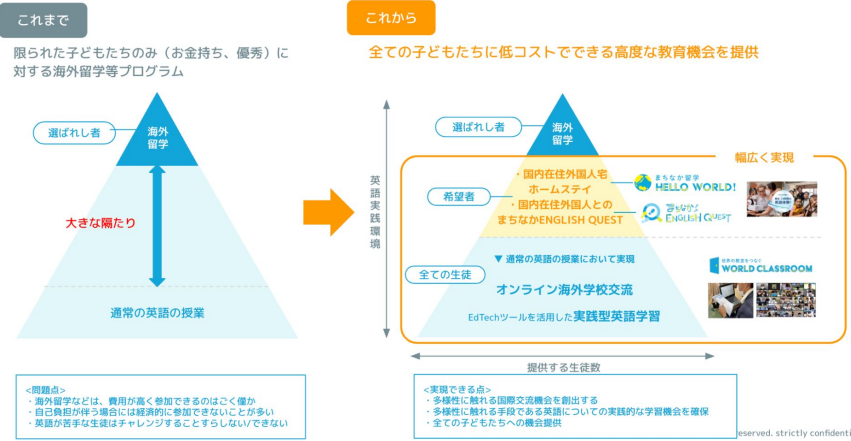
海外パートナー校 48カ国 620校以上

Indonesia, Taiwan, Philippines, Turkey, India, South Korea, Australia, Azerbaijan, Colombia, Italy, Kazakhstan, Lao, Pakistan, Romania, Russia, Slovenia, Spain, Tanzania, Thailand, Uganda, Ukraine, US, Uzbekistan, Vietnam, etc.



台湾、インドネシア、モンゴル、トルコ等
海外自治体とのMOU締結を通じて今後さらに急増見込み

まず、全ての子どもたちに海外短期留学同等の「多様性」に触れる教育機会（国際交流機会）を保障する

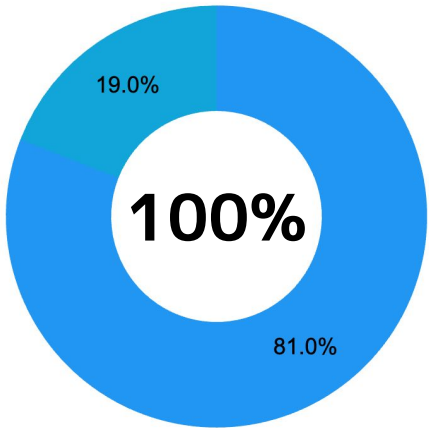


授業後の感想

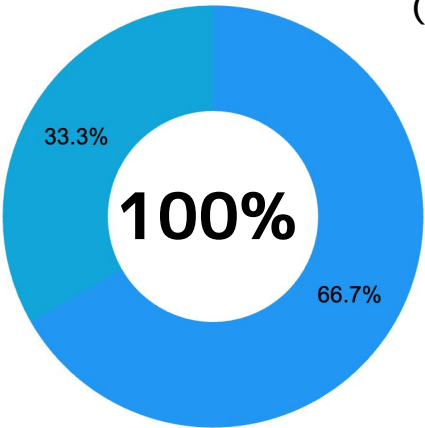
- 沖縄に5年で急成長した会社があると知って驚いた。普段聞けない起業の話が聞けて面白かった。（生徒）
- 大人になったら起業して成功できるように頑張りたいです。（生徒）
- 生徒が自己実現をしていくプロセスに必要な視点、新しい視点をもらえたと感じました。会社の立ち上げのエピソードを非常に興味深く聞かせていただきました。盛りだくさんの内容で1時間は短かったです。ありがとうございました。（先生）

国際交流を見据えた言語活動や通年での音読・プレゼン練習によって、
生徒の英語力が向上（特に話す力）。

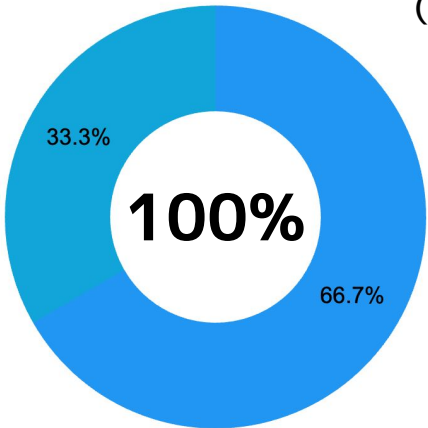
英語学習に役立つと思いますか。
（先生）



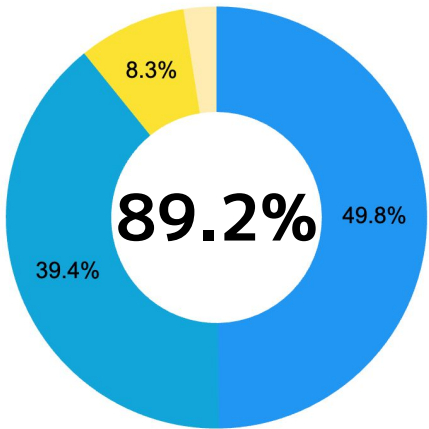
「話す」力の向上に役立ったと思いますか。
（先生）



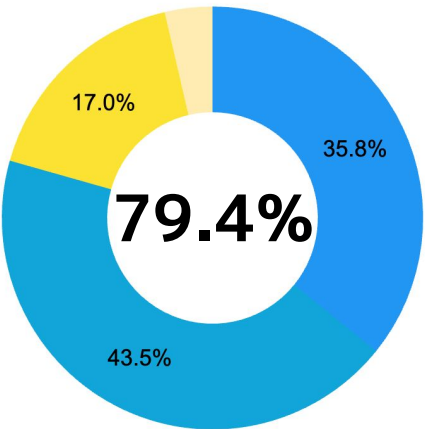
個別最適な学習に役立ちましたか。
（先生）



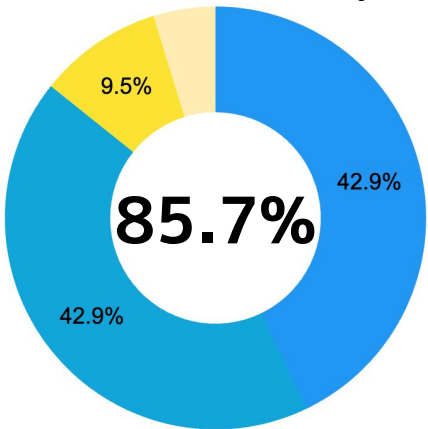
英語学習に役立つと思いますか。
（生徒）



「話す」力の向上に役立ったと思いますか。
（生徒）



英語が苦手な生徒も積極的に取り組める
ようになりましたか。
（先生）

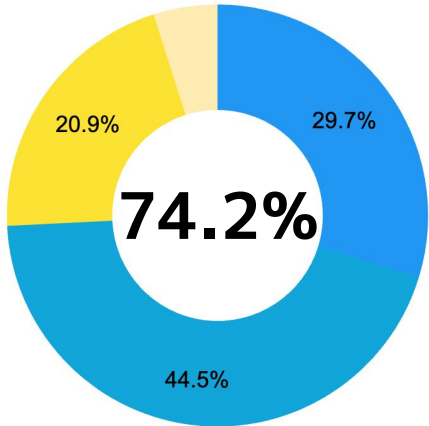


回答数：21件（教員アンケート）、795件（生徒アンケート）

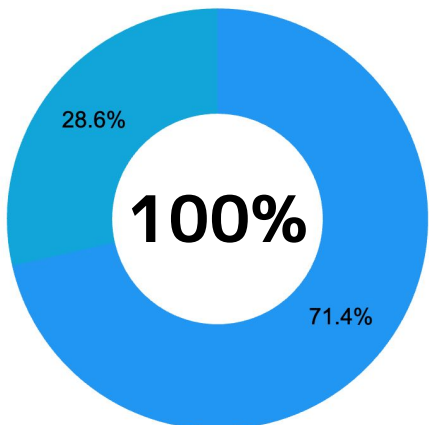
● 1. とてもそう思う ● 2. そう思う ● 3. そう思わない ● 4. 全くそう思わない
※円グラフ真ん中の数値は「とてもそう思う」「そう思う」の合計数値となります。

海外の生徒とオンライン国際交流や個別最適化された学習により、
生徒の英語学習への主体性・学習意欲が大幅に向上

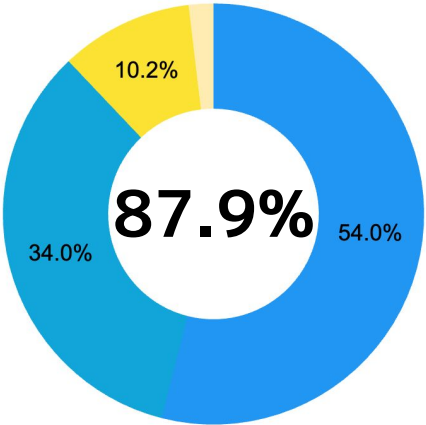
生徒は主体的に英語学習に取り組むようになりましたか。
(先生)



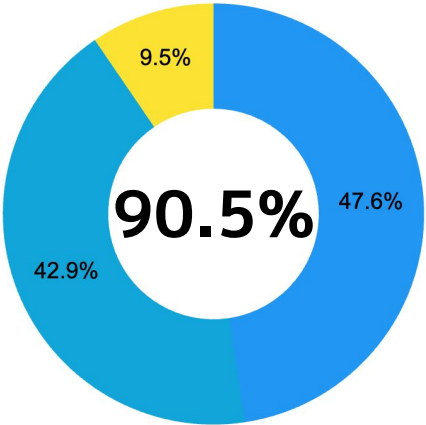
生徒のモチベーション向上につながりましたか。
(先生)



英語の授業で学習したことは、将来、
社会に出たときに役に立つと思いますか。
(生徒)



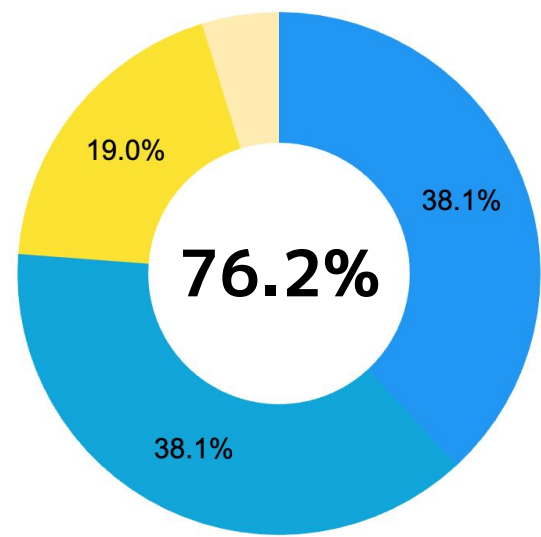
生徒は主体的に英語学習に取り組むようになりましたか。
(先生)



● 1. とてもそう思う ● 2. そう思う ● 3. そう思わない ● 4. 全くそう思わない
※円グラフ真ん中の数値は「とてもそう思う」「そう思う」の合計数値となります。

授業準備・評価づけ、教科指導を効率化。教員の業務負担縮減に寄与。
書く・話す活動の評価づけ（パフォーマンステストなど）を効率化

業務の効率化・省力化に役立ちましたか。



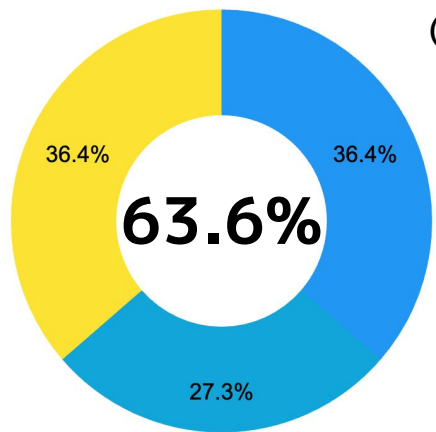
教員の感想

- 効率化より、その段階での個々の到達度に対応ができることが良いです。
- 教科書会社に合わせた本文や英検問題が用意されていることや、プレゼンテーションの手順や事例などを紹介してくれているので働き方改革につながったと感じている。
- 英作文の添削をゼロから行うのではなく、AIを活用して行うことで、生徒の英文のチェックが格段に楽になりました。
- 音読練習については、生徒がどのくらい頑張ったのか、具体的に分かって良かったです。
- 音読練習（プレゼンも含む）に取り組む際に、英語を何回も聞いたり、自分が言った英文が文字化されて表記されたりすることで、一斉指導では気づかなかった自分の課題に気づくことができたり、必要に応じて何度も聞くことができたりと、自分のペースで学習を進めることができる点は、大変いいと思いました。授業では、1人1人の課題に対応しきれないため、個別で学習を進めやすいと思います。
- 英語弁論の練習においても、自分で練習するツールとして活用してもらいました。放課後会議や出張等で教員と練習できなくても、Worldclassroomを活用して個人で練習を進めることができました。

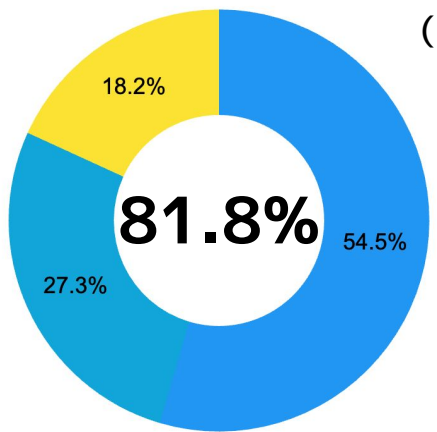
● 1. とても思う ● 2. そう思う ● 3. そう思わない ● 4. 全く思わない
※円グラフ真ん中の数値は「とても思う」「そう思う」の合計数値となります。

学生時代にも、社会人になってどのようなキャリアを歩んでも
汎用的に活用できるアントレプレナーシップについて関心・理解を深める機会となった

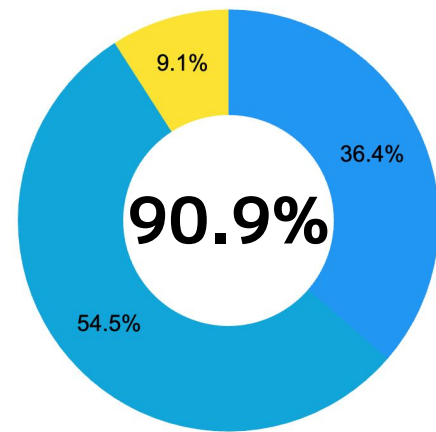
いつか自分でもビジネスや起業してみたい
(生徒)



アントレプレナーシップを学ぶことは
人生において大切と思った
(生徒)



今回のような講義をまた受けたい
(生徒)



● 1.とてもそう思う ● 2.そう思う ● 3.そう思わない ● 4.全くそう思わない
※円グラフ真ん中の数値は「とてもそう思う」「そう思う」の合計数値となります。

サービス導入にあたっての課題とその改善策

解決すべき課題

市における 事業化の 難易度の高さ

・通常「市」は翌年度の事業化に向けて新規事業は6月頃から庁内調整を行います、そのタイミングでは十分な実証や効果検証ができておらず、**翌年度事業案から省かれることがほとんどです。**
そのため無償導入1年間だけでは、**継続的な事業に繋がりにくいのが実情です。**

ICTに苦手意識 のある教員の サポート

・ICTや新しい取組みを得意とする教員と、慎重に様子を見ながら検証しながら取り組むことを選択する教員と様々います。ICTを苦手とする教員は開始1-2ヶ月で導入サポートが順調にいかない場合は年度後半に利用いただくことは難しいことも今回の導入で理解が深まりました。

不安定な 通信環境

・一部の学校では複数クラスでの端末利用 または悪天候時には**通信速度が著しく低下することがあります**。
(国内のみならず、海外も同様です)
・英語のEdTechツールの場合は、声の出るために**イヤホン・マイクが必要**ですが、端末は配布されていながらも、イヤホンが配布されていない学校がほとんどです。

解決策

数年かけた トライアル導入 の実施

・1年間の無償導入を経て、実証量やタイミングの問題で**残念ながら事業化しなかった自治体には、もう1年無償導入継続**し、予算要求のタイミングに合わせて十分な効果検証内容を提示するなどして、**中期的に事業化を支援します。**(結果としてほとんどの自治体で事業化を実現しています。)

タイミングを 意識した 教員への サポートの拡充

・年度の最初のうちに活用定着させて通年で活用いただくためにも、採択後なるべく早く操作説明会とその後すぐに初回授業を実施し、その成功を伴走型でサポートし、サービスの有効性や活用方法を体感いただく機会をつくります。

充実した 活動を支える インフラ強化

・通信環境が悪い学校は、**教育委員会のICT担当と連携し、ルーターなど通信インフラの確認・設定変更・機材の買い替えなどの調整を行なうことで、通信環境の改善を図ります。**
・多くの学校では**学校予算あるいは教材費でイヤホンマイクの調達を検討**しています。予算が不足する場合には、イヤホンマイクを個人所有している場合にはそれを活用し、持っていない生徒分のみ授業に限り貸し出すなどの対応を検討します。

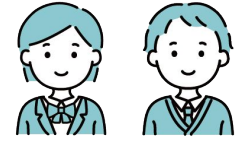


サービスを利用した児童・生徒・教職員等のコメント



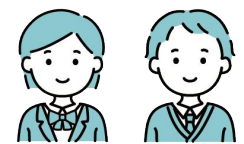
英語を学ぶ意味や目的が明確になり、英語に対する学習意欲が向上。 「アントレプレナーシップ」が身近なものになった。

英語の学習に
意欲的になった



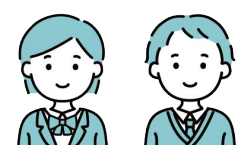
- 当日も英語が分からなくても、自分たちで試行錯誤し答えようとしていました。
- **英語を話そうという気持ちが高まり、その後の授業では意欲的に受けています。**（先生）
- 話した時のうまさとか自分ではわからないけど、スコアとか出て頑張ろうという気持ちになりました（生徒）
- **海外校とのリアルタイムによって英語学習へのモチベーションをさらに向上させたように感じます。**（先生）

個別最適の学び
を実践できた



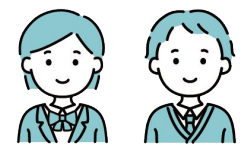
- 音読だけでなく、パフォーマンステストの準備段階でも文法チェックや発表練習に生徒たちが活用。
それぞれの生徒が自分のスピードで学習することができています。（先生）
- 英語弁論の練習においても、自分で練習するツールとして活用させてもらいました。
放課後会議や出張等で教員と練習できなくても、個人で練習を進めることができました。（先生）

生きた英語
に触れた



- 拙い英語でも、自分たちが学習した英語を使って海外の生徒さんとやりとりすることは、
実践的コミュニケーションの育成において教科書を使って学習する何倍もの効果があると感じました。（先生）
- 授業では見えなかった「交流したい」「英語でコミュニケーションをとりたい」という思いを感じることができ、大変勉強になりました。（先生）
- リアクションがとても良くて、伝わってると感じて安心できました。（生徒）

アントレ
プレナーシップ
を理解



- 社会に新しい価値を提供するには、いろいろな人の意見を聞くことが大切で、目標を立てることでそれに共感するお客さんができ、利益を得られていい会社ができるということをしました。（生徒）
- 自分1人で考えるんじゃなくて他の人からの意見を参考にして様々なアイデアを出していくことが大切とわかった。自分でやりたいと思ったことを行動に起こして成功させていてすごい。
私も身近なことから枠を超えて行動していきたい。（生徒）
- **アントレプレナーシップは起業するためではなく、普段の生活をよりよくしていくためにも活用できると知った。**（生徒）

◆ 幹事社



会社名	HelloWorld株式会社 (HelloWord Inc.)
所在地	沖縄：〒904-0004 沖縄県沖縄市中央1-7-8 関東：〒103-0001 東京都中央区日本橋 小伝馬町16-5 S-TOKYO内
連絡先	wc_support@hello-world.city
資本金	1,000,000円
代表者	代表取締役 野中 光 代表取締役 富田 啓輔（弁護士）
取締役	取締役 上里 幸俊 （沖縄市市役所において部長職を歴任）
事業内容	● まちなか留学 ● 世界の学校を繋ぐ WORLDCLASSROOM ● SDGS 推進/国際交流 ● グローバル人材育成事業コーディネート



会社名	株式会社コエルワ
所在地	〒060-0042 北海道札幌市中央区南1条西2丁目1-2 木NINARUBLDG. TREEBASE FD-1
連絡先	info@coeruwa.com
資本金	23,000,000円
代表者	代表取締役 阿曾沼 陽登
取締役	嶋本 勇介
事業内容	①長期休暇支援 ③教育イベント・コンテンツ開発 ⑤企業共創・イノベーション ⑥コンサルティング・研修・講演 ②放課後支援 ④しくみデザイン